

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

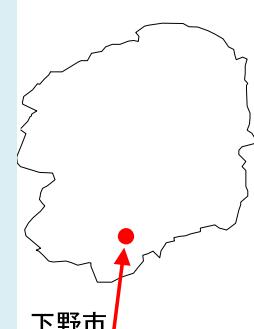
【地区の概要】

- 江川の右岸に位置する広大な水田地帯
- 豊富な水源と平坦な地形を生かし、水稻や、ビール麦等の土地利用型農業が盛んに行われている地区

【支援内容・背景】

- 中心経営体への農地集積が進む中で、経営規模の拡大や経営の効率化を進め、安定的に地域を担える経営体の育成が必要。
- 助成対象者の代表者は50代で、水稻、ビール麦、露地野菜の複合経営を行っており、地域の主要な担い手となっている。令和2年度には、後継者も経営に入り、今後も規模拡大の意向がある。
- 地区における水田の大規模な経営体として育成・支援するため事業を実施した。

栃木県



【経営の経緯】

- 平成7年度 経営改善計画の認定
- 令和3年度 法人化

《事業活用の背景》

- スマート農業技術の導入により土地利用型部門における低コスト・省力化を図り、さらなる経営面積の拡大と収益増を見込んでいる。

【事業実施時の状況】
(R2年度)

- 売上高 38百万円
- 経営面積 41.5ha

《事業による整備内容》

- 自動操舵トラクター (98.5ps) 1台
事業費 11,130千円
(国費 5,059千円)
- ロータリー (作業幅240cm) 1台
事業費 1,163千円
(国費 528千円)
- ウイングハロー (作業幅450cm) 1台
事業費 1,707千円
(国費 776千円)

【現在の経営状況】
(R5年度)

- 売上高 59百万(155%)
- 経営面積 57.1ha(137%)

事業の効果

- 《対象者》自動操舵トラクター等の導入により、作業の効率化や生産性の向上が図られ、経営規模及び売上高の拡大を図ることができた。
- 《地区》安定的に地域農業を担える経営体を育成することができた。